やあ!! こんにちわ

横越青年姉妹の美浦（みほ）（茨城県）と交流

先輩の残した絆は堅い

去る十二月二日から四日まで、美浦村において、当村青年との交歓会が行なわれました。昭和三十六年からつづいているこの交流も今回で六回目です。今回は二十六人参加しました。そのなかから、五人のレポートを紹介します。紙面の都合で一部省略してあります。

尚来る二月三日から五日まで美浦青年が当村に来ますのでおしらせします。

横越　佐藤　剛　二〇才

青年団に入って二年目の私は、当村の姉妹村である美浦村の事はまったく知りませんでした。

私は今回の交流で、まず最初に「友」（仲間）を作ろうと思っていました。まったく未知の世界で、はたして友人が出来るか一抹の不安がありましたが、しかし、その心配はまったく無用でした。かれらはとても明るく違和感を与えず話しかけてくれました。こちらもためらうことなく話の中へ入っていけました。こんな素晴らしい青年達と友達になれると思うとなんだかとても楽しくなって来ました。

私は村崎君の家に民宿しましたが、彼の父親は去年ガンで無くなったそうで彼は二十才で一家をささえています。彼の家は農家で農業の話をしている目を輝かして真剣に話をしてきて、農業を手伝っていない私は、彼から学ぶべき事が多くありました。自分を反省しながら同じ年令で、こんなにも一生懸命に生活している彼と話をしていると、あっというまに時間が過ぎてしまいました。

二泊三日という短かい期間を振り返って見ると、次から次に彼等の顔が浮かんで来ます。まったく未知の村であったけれど、少しは知るけとが出来ました。新しい友達も出来ました。また人生において新しい青春の一ページを付け加えることが出来ました。

横越村から持って来た記念楯、ゆきつばきを植える

藤山　田村　輝子　二一才

美浦は暖かい所だと思っていたのに、着いた日は風があって少し寒かったけれども、ずうっと好天に恵まれて、毎日雨の降っている新潟に比べると、とてもうらやましかった。

第一日目は予科練記念館、雄飛公園、美浦トレーニングセンターを見学したが、予科練記念館では戦争のこわさを肌で感じた。トレーニングセンターは別世界を思わせるような大都市のようで、これが出来上り五千人という人が入って来たら、美浦もずいぶん変っていくだろうなあと思った。うらやましいと思う反面自分達の村が変えられていくというのは、少し淋しいような気もする。

トレセン見学の後、老人福祉センターで歓迎会が行なわれ、分科会では横越に比べて美浦の人達はおとなしい印象を受けた。夜は大山支部の交流会に加わったが、いろ〳〵気をつかってもらった。

二日目、役場でマリッジスクールを受けてそれから、中学校の体育館でフォークダンス、社交ダンス、バレーボールが行なわれた。美浦の人はとてもうまく丁寧に教えてくれたのでとても助かった。それから各支部ごとに別れて行動することになったので、ドライブ、ボーリングをしてかえりました。まず日本中央競馬会美浦トレーニングセンターの規模の大きさにびっくりしました。

又旧海軍航空学校での記念写真と、家族にあてた手紙などは、心涙せずにはいられませんでした。

次に支部交流でのあったかい歓迎会、次の日のマリッジスクールなど、たいへんよい勉強になりました。レクでの社交ダンスは踊ることができず残念でした。又あたたかく迎えて下さった家庭交流などどれ一つとっても素晴しいものばかりだと思います。

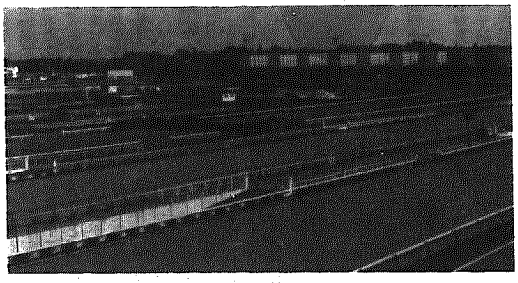
横越　米木　正栄　二三才

今から三年前、私は青年団活動がどういうものか、又県外青年との交換会がどういう意味をもっているのかわからなく、なんとなく目的なしに活動していました。

その後美浦村の青年を迎えるにあたっていろ〳〵のことを学びました。一口にはいいきれませんが、県外青年との交換会の意義の心の大きさに心をひかれました。

私達と同じ年頃の県外の青年団が、今どのようなことを考えているのか、そして今日の厳しいまでの社会情勢の中で、青年団というものをどのように考えているのか、ということでした。

私は先回迎えるにあたり次回は私もぜひ美浦村へおじゃましたいと三年間待ちました。まず日本中央競馬会美浦トレーニングセンターの規模の大きさにびっくりしました。



競争馬のトレーニングセンター、後方は宿舎

越　鈴木　径子　二十才

「冬なのに、こんなにいい天気、空がとっても青かったのｴﾈ」、始めて美浦村に来て思いました。

私は土屋支部で宿泊したのです。

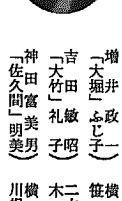
私にとって楽しい二日間が始まります。会長の家で手料理を食べさせてもらったり、家族の人達と話をしたり、夜は遅くまで歌をうたったり、お菓子を食べたりそれは〳〵楽しい歓迎会でした。この支部ではほかの支部より少し山手の方に入っています。横越村ですと「隣に行く」というとすぐ横かむ前ですが、土屋支部は遠く離れていました。少しさみしいようですね!!

家族は一つの部屋でテレビを見たりして、いつも顔を合せて楽しい生活をしているのです。青年会員はあまり土浦市へは遊びに行かないようです。その点私達とはちがう。

それから、青年会活動面はあまり良くないと聞きました「私達の活動が少しでも見本になってくれたらいいのにねえ」と思いました。それから店が一軒しかないのです。家の人の話しだと車で売りに来たり、日曜日など、日用品を車に買いに行ってくるそうです。

こんな話をしているうちに二日間は去っていきました。

木津　小畑いつ子　一九才



美浦村との交流会に参加できはんとうによかったなあと思いました。第一日目は美浦トレーニングセンターと予科練記念館を見学しました。予科練生の命を投げだしてまで国を守った勇気には感動しました。遺書など見ても、とても十六才位とは思えませんでした。

交歓会で、美浦村青年のかかえている問題と、私達の持っている問題は、遠く離れていても同じことが考えられました。支部交流にはお酒が入ったせいか、美浦青年とは昔からの友達のような気がしました。それに美浦は過しやすい気候のせいか、人間がおだやかで素直に感じられ新潟には帰りたくなくなりました。

この交歓会によって、また新しい友情ができたようで、とても貴重な経験をしたと思いました。

横越村の人口

（52年11月末現在）

総人口8,440　うち男4,117　女4,323

世帯数 1,859世帯

11月の動き　出生 6　死亡 3　転入24　転出42

おめでた

（11月の出生）

新生児	親名	地区
清野　静枝	政明　沢海	上
伊藤　武範	武夫　沢海	中
高橋由紀子	律夫　二本木	中
遠藤江利奈	春男　小杉	上
田中　克彦	十二男　横越	中
本間　利恵	一人　横越	上

およろこび

（11月の結婚）

		地区
新郎新婦		
佐藤　訓弘「菅井」桂子	横越	上
鈴木　克也「水野」美津子	京ケ瀬	村
館勢　山由明「外石」さとみ	小杉	下
田辺　秀夫「村山」百合子	紫竹寺	町
駒沢　二「小形」照子	豊沢	中
田中　久「柳木」久子	新横越	中
別所　新「松嶋」直子	潟横越	市
別所　浩一「斎藤」英美子	亀沢海	中
清野　正「吉田」厚子	白沢海	中
五十嵐　秀雄「立川」とし子	亀田	町
横越	横越	上
佐藤「仲村」礼子	白沢海	中
二本木	根津	市
増井　政一「大畑」ふじ子	横越	上
吉田　敏「大竹」礼子	二本木	下
神田宮　美男「佐久間」明美	木津	中
小山　昭「田村」直子	川根谷	中
岩田　周「宮嶋」澄子	横越	内
田村　孝「佐藤」則子	二本木	中
横越	笹神	村
〃	横越	下
横越	二本木	下
横越	亀田	町
横越	白沢	上
横越	安田	町
横越	白沢	上
横越	紫竹寺	町
横越	豊沢	中
横越	新潟	市
横越	新潟	市
横越	新潟	市
横越	高橋	上
横越	小杉	上
横越	横越	中
横越	横越	上

おくやみ

（11月の死亡）

故人	年令	地区
板垣　コウ	95	沢海中
永井イサヲ	53	横越上
東城　リク	77	木津中

1月保健衛生業務予定

月日	曜日	時間	内容	対象者	会場	対象
1月30日	月	午前9.30 開始	離乳食講習会	昭和52年8・9月生	横越村公民館	全村
1月30日	月	午後1.30 ～2.30	乳児検診	昭和52年1月・6月・10月生	〃	〃

「愛の献血」にご協力を

ゆうあい号 がきます

村民のみなさん、愛の献血にご協力をお願いします。

と き…1月26日（木）
午前10時～12時
午後1時～3時

ところ…横越村公民館

第四回スキー教室参加募集!

○期日…一月二十九日（日）
○会場…五日町スキー場
○参加費…大人三、〇〇〇円
小供二、〇〇〇円
（交通費、食事代、おやつ代含む、但し、リフト代貸スキー代は別）
○交通…貸切バス
○申込、問い合せ…公民館
○主催…横越村公民館
○協力…横越スキークラブ

還付の申告はお早めに

昭和五十二年分の所得税の確定申告と納税は二月十六日から三月十五日までとなっていますが、税金の還付を受けるための申告書は二月十六日以前でも受付けております。

税金が還付される人は、

①住宅を新築したり、新築住宅を買った人。

②病気などのため、多額の医療費を支払った人。

③災害や盗難にあって損害を受けた人。

④五十二年の中途で退職し、年末調整を受けなかった人

⑤源泉徴収された原稿料や、配当などの収入が少額で、その他の所得もあまり多くない人。

⑥予定納税のある人で、確定申告の必要がなくなった人

それぞれについて、必要な条件がありますからご注意ください。なお、還付される税金が三万円以上になる方は、申告書に受取る銀行や、農協などの預金口座を記入してください。